

2022年2月の行事予定表

1	火		16	水	
2	水		17	木	
3	木		18	金	
4	金		19	土	礼拝式
5	土	礼拝式、教会役員会	20	日	
6	日		21	月	
7	月		22	火	
8	火		23	水	
9	水		24	木	
10	木		25	金	
11	金	2, 11 集会(平和集会)ZOOM 形式 「ミャンマーの現状と私たち 13 時 礼拝式	26	土	礼拝式
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月				
15	火				

2月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。
(敬称略)

編集後記

- ◇ 今年も新しい年を迎えることができました。
- ◇ 昨年に引き続き試練の状況ではありますが、主の導きを信じて歩んで行きましょう。
- ◇ 今月は新年礼拝レポート、皆さまからの今年の目標のご紹介、そして十川兄召天の記事と頂いた追悼文でした。
- ◇ 礼拝自粛のこの状況も来月号が編集できますよう祈ります。

教会月報

2022年2月

No.369

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

教会役員の仕事

「『監督の職を求める人がいれば、その人は良い仕事を望んでいる。』だから、監督は、非の打ちどころがなく、一人の妻の夫であり、節制し、分別があり、礼儀正しく、客を親切にもてなし、よく教えることができなければなりません。」
I テモテ 3 : 1 - 7

今年度も早や2月を迎えました。暦では28日までとなっています。さて、教会では総会等で選出された役員で教会役員会(牧師と共に9名)を行います。その結果は、月報でもお知らせしているところです。具体的には、信徒必携に記されています。①礼拝及び聖礼典の執行に関する事項②伝道及び牧会に関する事項③教会教育及び訓練に関する事項④教会の事務及び財政に関する事項⑤信徒の消息、移動に関する事項⑥教会総会に提出する予算・決算案その他の議案に関する事項⑦教会財産に関する事項⑧その他です。教会を運営するにあたり、年に一度の教会総会を開催し、次の年度までの間、教会役員会が責任を持って運営にあたることを求められます。教会会計は特に重要な任務を負っています。献金を慎重に管理し、適切に用いられることが求められます。祈ってその業に取り組む必要があるでしょう。なぜならば、神より賜った貴重な財であり、それぞれが収入の十分の一をささげるように聖別された献金であるからです。教会員の皆さんの献金によって教会は運営されているのです。役員は資質ですが、上記のテモテの手紙に記されている通りです。一般人より以上の適性が求められます。信徒の模範となるべきです。しかし、完全ではない欠けの多い私たちをあえて選び、用いようとしていただいていることに感謝しつつ、聖なる業につかされたいのであります。そして、教会役員のために、ぜひ信仰と知恵と力が与えられますよう日々お祈り下さい。
牧師 永松 清

「一年の計は元旦から」



1月2日 新年礼拝の様子



2022年元旦礼拝が1月1日(土)11時より行なわれ、永松牧師より、「希望の源泉」と題してⅡコリント4:7~15より新年メッセージが語られました。出席者は16名(うち子ども2名)でした。久しぶりの兄弟も集われ、新年の挨拶が交わされました。

翌2日(日)は今年初めての新年礼拝でした。ルカ2:41~52より語られた「少年イエス」のメッセージに思い至しつつ、恒例の集合写真も撮りました。出席者は18名でした。

特集『2022年 あなたの教会生活の目標は？』

～皆さまからひと言をお寄せいただきました～ (敬称略)

★ K.E.
“毎日みことばを唱えること。”



★ M.O.
コロナに負けず、毎日楽しい日々になりたいです☺教会の皆さんと共に思います!!

★ S.O.
私は、元旦礼拝で歌う讃美歌 21「新しい年を迎えて」が大好きです。
「みことばに励まされつつ 欠け多き土の器を 主の前にすべて捧げて、み恵みが溢れるような 生き方を今年はしよう」と唱和する時、そうだ!「368番のような生き方を今年こそしよう!」と、心が燃えるのです。毎年燃えるのです!

★ M.M.
私は、自分のこの足で教会へ行けることが喜びです。賛美(編注:新聖歌 355番)にあるように、“ひと足、ひと足～”、一年間、感謝をもって礼拝へ行くことが目標です。2022年のみ言葉は、ローマ 12:12『希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。』

★ N.O.
教会学校に亮英ができるだけ参加できるようにすることが目標です。

J.S.兄 召天



J.S.兄(76歳)は、1月4日午後2時4分、食物を詰まらせて窒息により召天されました。5日に前夜式、6日に葬儀告別式が教会で家族葬として執り行われました。ご遺族の上に主の慰めがありますようにお祈りします。

J.S.兄を悼む



あえて巡ちゃんと呼びます。

巡ちゃんの精神の原点は牧山に住んでおられた祖母の〇姉でしょう。〇姉は、渡し船で渡る川と山に囲まれた美しい村の高台に住んでおられ、老若男女がこのクリスチャンホームの門をくぐりました。大山さんの娘さんが K.S.姉で華道家で、孫が巡ちゃんです。いとこが M.O.君です。

巡ちゃんは私が絵を描くのが好きと知り、油絵の材料を選んで下さいました。自身の絵は教会の階段のところに賞をとられたのが掛けてあります。

2人の妹さんと親しかったので家にも伺った事がありましたが、礼拝の司会で聖書を朗読するしっかりとした口調とは違い、やさしいお兄さんがそこにはありました。美的センスと自然を愛する心、そして根底に流れるクリスチャンの精神が一つになったのが巡ちゃんであつたと思つてます。また会う日まで。シャローム!

一粒の麦、地に落ちて死なずば、唯一つにて在らん、もし死なずば、多くの実を結ぶべし。

(ヨハネ福音書 12:24(文語訳) 〇家の玄関の聖句)

(E.F.)

★ H.D.

私たちの教会堂は、多くの教会員にとって初めから備えられた素晴らしい会堂です。

素晴らしい教会堂は、一体誰のための物でしょうか。

私たちの先達は、多くの財産、そして教会堂をも主に献げ、自分たち教会員のためにではなく、

すべては未信者・求道者のために豊かに用いられるように、と

祈って献げたものであることを、改めて思い返しています。主から委ねられているのは、伝道・宣教を第一とした会堂の管理であると。

地域に開かれ、伝道・宣教のスピリットに溢れた教会形成を祈ります。

★ K.M.

ローマの信徒への手紙 5:3,4「患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っている。」

★ A.Y.

可能な限り、成人科に出席して聖書に親しむ。

★ B.Y.

1月16日の礼拝に行くときは、津波やコロナのニュースに心を痛めて、自転車をこぎながら祈りました。礼拝で永松先生の説教(マルコ1:14~20「最初の弟子たち」)を聞いて自転車で帰りながら、イエス様に声をかけられたときに何もかも捨てて従った弟子たちの姿をみて深く反省しました。悔い改めました。神様に従い、献身していきたいです。